

## 全国精神保健福祉会連合会 2023 年度事業活動報告

### はじめに

2022 年度、障害者権利委員会から出された総括所見に対して、残念なことに未だ明確な国の動きはみられていませんが、精神科医療関係者が集う場においては、当事者と家族からの声を求める積極的な動きを、これまで以上に感じた 1 年でした。また、2020 年から始まったパンデミックから、ようやく落ち着きを取り戻す中、全国各地との行き来が再開し、顔と顔を合わせて語り合うことの大切さを再確認する日々となりました。そのような中で、みんなねっと提言の実現を推し進めるため、以下の活動に取り組んできたことを報告いたします。

### 1 2023 年度事業計画の趣旨

- ・精神障がい者と家族の願い実現のために「精神保健医療福祉へのみんなねっとからの提言(略称：みんなねっと提言)」をもとに国連障害者権利条約（総括所見）を学びながら精神保健医療福祉改革を広く訴えていく。
- ・オンラインシステムの有効利用を継続しつつ、リアルな交流や都道府県連合会への対応にも重点を置いた活性化をすすめる。
- ・多様な立場の家族との連帯と活動の連携・充実および会員拡大

### 2 2023 年度基本構想（ビジョン）

- 1) 家族本人の願い・思いである「みんなねっと提言」を全正会員で実現を目指す
- 2) 法人運営の安定した活動を維持するため、正会員の組織活性化
- 3) みんなねっとの存在意義を示すための体験的知識の蓄積体制を整える

#### 1) 家族本人の願い・思いである「みんなねっと提言」を全正会員でその実現を目指す

##### ①課題別要求のとりくみ

- ・「みんなねっと精神保健医療福祉への提言」の冊子作成と配布

2022 年に発表した「みんなねっと提言」を月刊みんなねっと 2023 年 6 月増刊号として、都道府県連合会や賛助会員に配布した。みんなねっとのすすむべき方向

性を会員全員のものにし、実現していくためにも、組織体制の検討をすすめた。また、障害者権利条約とその総括所見とも重ねて訴えることが必要であることを再認識した。

#### ・障害者政策への要望反映

みんなねっと提言を基に、障害者権利条約総括所見の視点、代表理事等での協議を背景に関係当局開催の会議・審議会への参加協力、発言や要望をおこなった。また、メルマガやメーリングにて情報発信と集約をおこなった。

#### ・精神障害者への公共交通運賃の割引制度の実現

私鉄大手の内、各ブロックでの事業本社や中央での省庁への度重なる要請、国会質問への協力をおこなった。

2017年の西鉄依頼、2023年4月より近鉄、10月より京王、東急、南海、24年3月より名鉄が割引を実施、残るJRと私鉄大手に対しても提供への機運を高めた。

#### ・重度障害者医療費助成制度の適用推進（2級までの拡大を視野に）

学習会等の個別のとりくみに留めることなく、実現プロジェクトチーム化体制を確立(2024年度)することに至った。富山県連中村会長が青木理事の調査も踏まえて、実施状況とりまとめご報告いただいた。

#### ・教育課題は特に高校での授業内容の把握に努め、授業充実のために積極的に働きかける

直接的な働きかけは、都道府県ごとの教育委員会との対応となるが、みんなねっととしては、みんなねっと政策委員でもあった福田正人先生（当時群馬大学教授）等のご協力も経て、月刊みんなねっと2024年4月号に特集掲載とした。

### ②調査研究事業

#### ・体験的知的の蓄積のための情報収集

各都道府県連合会会報などの保存・保管とデータの蓄積状況を把握

2023 都道府県連合会アーカイブ資料実態調査を実施。

都道府県連合会によってばらつきはあるが、引継ぎなどの過程で処分されているなど、残っているものは理事会議事録などの基本的な保管書類であり、歴史的な情報を群

(時間や系統) としてのものはほとんどないことが分かった。

### ③ピアサポート事業 (家族会活動の育成強化)

#### ・都道府県連合会支援 (みんなねっと事務局より派遣)

淑徳大学伊藤千尋先生科研費の補助を受け、各ブロック 2 か所の県連へ、みんなねっと事務局より訪問した。その内容は「2023 年度都道府県精神障害者家族会の活動に関する調査報告書 (速報版)」(別紙) としてまとめた。

訪問先 北海道、山形、茨城、神奈川、福井、富山、山梨、岐阜、兵庫、奈良、高知、徳島、大分、長崎、山口

#### ・家族学習会のアドバイザー、担当者の養成：【JKA 補助事業】

##### a. 家族支援ピアサポートセミナーの開催 (プログラムの普及についての研修会)

<2023 年 6 月 29 日 / 大分県：受講者数 16 名>

昨年度より、大分県連として本学習会の開催および県内傘下の家族会 (以下、単会) への実施促進を図るため、県連会長をはじめ、事務局が進めてきていた。今年度は本学習会をさらに県内に広めるためにセミナーを開催し、その上で実際に学習会の開催へとつなげていくことができた。

<2023 年 8 月 19 日 / 北海道：受講者数 11 名>

以前より本学習会を道内に広げたいという一部の会員の働きかけがあったが、実際に広い道内では家族会員が集まることもアクセスや時期的な面 (10 月以降は積雪等により開催が困難) で困難であった。そこで、本学習会の開催に意欲的な単会および周辺の家族会員に対し、本学習会の実施に向けたセミナーを開催した。結果、セミナー受講後より、単会にて本学習会の実施に至ることができた。

本学習会の開催拡大やより開催しやすい方法として効果的に働いた好事例とな

った。

**b.家族学習会ファシリテーター(担当者 or アドバイザー)の養成・フォローアップ  
(プログラムの実施および質を担保する仕組み)**

i.担当者養成研修会／開催数：14 か所(うち JKA 補助事業 11 カ所)、受講者数  
135 名

今年度はJKAの補助を受けて開催したか所数が11か所、独自予算での開催が3か所と、合計14か所での実施となった。か所数としてはここ数年で見ると非常に多く、岐阜県、広島県、佐賀県、沖縄県においては2～4年ぶりの開催となった。各県内での開催ニーズの高さが明らかとなった。

2023年7月	2日	岡山県	きらめきプラザ	
	7月	3日	神奈川県	横浜ラポール (独自事業)
	7月	4日	埼玉県	埼玉県障害者交流センターホール (独自事業)
	7月15日	静岡県	静岡県総合福祉会館	
	7月22日	佐賀県	ゆめぷらっと小城	
	7月29日	福岡県	北九州市立西部障害者福祉会館	
	8月	5日	オンライン	ZOOM
	8月11日	沖縄県	てるしのワークセンター	
	10月28日	広島県	健康福祉センター	
	12月14日	岐阜県	ハートフルスクエアG	
	12月23日	オンライン	ZOOM (きょうだいのみ対象)	
	2月	4日	宮城県	仙台市シルバーセンター (独自事業)
	2月	7日	群馬県	群馬県総合社会福祉センター
	3月	9日	オンライン	ZOOM

ii.アドバイザー研修会、アドバイザーフォローアップ研修会／受講者数55名

アドバイザー研修会およびアドバイザーフォローアップ研修会は、各地で活躍している「担当者」や「アドバイザー」が他の地域の人たちと一緒に研修し、交流・情報交換ができる場となっている。精神障害者家族会は、多くの会員が「親(父・母)」の立場の方が多い中、今年度は「きょうだい」や「こども」の立場の参加が増え、同じ家族であっても立場の違う状況や心情を相互にわかち合うことのできる機会となった。

精神障害者家族会では会員の「高齢化」が全国的な課題となっているが、きょうだいやこどもといった若年層の家族が本学習会を通して家族会に入り、活性化の一助になっていくことが期待できる。

10月15日 埼玉県 レイボックホール (アドバイザーフォローアップ研修会)

3月 3日 オンライン ZOOM (アドバイザー研修会)

### c.アドバイザー派遣事業

昨年度に引き続き、今年度も40か所(=家族会)の開催として計画していたが、実際にはJKAの補助事業として50か所、独自事業として4か所(仙台、横浜2地域、きょうだいグループ)の合計54か所にて開催した。特に北海道、群馬県、大分県では、初めて本学習会を開催した単会が生まれ、家族学習会の普及が進んできたといえる。

No	団体名	開催地	会場
1	ひまわり・たけのこ会	群馬	太田市福祉会館
2	まべちの会	青森	南部町地域交流施設「いちょうホール」
3	YSK	埼玉	越谷市障害者福祉センター こぼと館 社会適応室
4	のぐさ会	長崎	就労継続B型支援事業所のぐさ
5	ゆみはり会	長崎	ボランティアセンター別館研修室
6	阪本病院家族SST交流会	大阪	阪本病院
7	ハウス希望家族会	岐阜	大垣市総合福祉会館研修室
8	佐賀県連	佐賀	ゆめぷらっと小城
9	家族SST交流会	大阪	堺市総合福祉会館第4会議室
10	ぬくもりの会	静岡	富士宮市駅前交流センターきらら
11	いずみ会	福岡	サンアビリティーズいづか多目的室

12	すずめのお宿	福岡	こころの春・希望
13	沼田あおぞら会	群馬	テラス沼田
14	にじの会	兵庫	三田市フラワータウン市民センター
15	広島市精神保健福祉家族会連合会	広島	広島市中区地域福祉センター
16	はまゆう家族会	福岡	はまゆうサポートセンター
17	とわだ家族会	青森	市民交流プラザ「トワーレ」
18	焼津心愛会	静岡	焼津市総合福祉会館 3 階
19	藤枝心愛会	静岡	藤枝市文化センター3 階
20	みどり会	静岡	牧之原市総合健康福祉センターさざんか
21	心明会	静岡	辻生涯学習交流館
22	丹誠会	静岡	アイプラザ 2 階研修室
23	仙精連	宮城	仙台市福祉プラザ、仙台市シルバーセンター
24	玉名きぼうの会	熊本	玉名きぼうの家
25	つばめの会	岡山	西大寺ふれあいセンター4 階
26	岡山市家連	岡山	きらめきプラザ 7 階
27	富山県連	富山	富山県民会館 503 号室、
28	ま♡いっかの会	岡山	きらめきプラザ 7 階
29	もみじの会	岡山	もみじの会事務所
30	埼玉 B ブロック	埼玉	ウェスタ川越
31	吉田町精神保健福祉会たんぽぽ会	静岡	吉田町社会福祉協議会
32	あかちち会	沖縄	てるしのワークセンター
33	偕楽園	北海道	北家連事務所
34	浜家連 B ブロック	神奈川	保土ヶ谷区かるがも館 2 階多目的ホール
35	広家連	広島	榮会館
36	やすらぎ会	静岡	ふれあい福祉センターなごみ
37	まごころ会	静岡	サンウェルぬまづ
38	しののめ福祉会	福岡	しののめ
39	埼玉 E ブロック	埼玉	飯能市市民活動センター
40	富岡学習会	群馬	富岡市生涯学習センター3F、富岡市役所議会棟 1F
41	静岡市静心会	静岡	静岡市静心会事務所
42	あかつき会	福岡	北九州市西部生涯学習センター
43	湘南あゆみ会	神奈川	平塚市民活動センター
44	大分県精神保健福祉会	大分	大分県総合福祉会館
45	グループ D(配偶者の会)	zoom	オンライン
46	グループ E(きょうだい)	zoom	オンライン

47	グループ F (こども)	zoom	オンライン
48	おあしすコール	沖縄	沖縄市福祉文化プラザ内おあしすコール活動室
49	もくせい家族会	埼玉	埼玉県障害者交流センター
50	グループ C (九州)	zoom	オンライン
51	グループ A (本州・親) ①	zoom	オンライン
52	浜家連 C ブロック	神奈川	中区不老町地域プラザ 3 階ボランティアセンター
53	本庄双葉会	埼玉	本庄市児玉総合支所 (アスピア児玉) 第 2 会議室
54	グループ G (本州・親②)	zoom	オンライン

#### d. 家族学習会企画委員会の開催

精神障害者家族および専門職、有識者からなる企画委員会を組織し、各研修内容等の検討を行った (全 4 回、オンライン開催)。

第 1 回：2023年5月22日 (14名)      第2回：2023年9月26日 (20名)

第 3 回：2023年12月4日 (17名)      第4回：2024年3月18日 (17名)

#### ・地域家族会による「家族による家族学習会」等のオンライン支援、およびブロック圏域での実施方針の再確認と推進

昨年度構築した web 上から家族学習会等の告知、募集および報告等の諸手続きを可能としたコンテンツについて、現状はまだ実働には至らず、事務局での確認等の作業中となっている。今後は、web 上での手続き等が可能な都道府県連や単会へは徐々にシステム上での作業ができるよう、進めていきたい。

家族学習会はコンボから引き継ぎ、当会が主催となって全国的な実施の促進を進めてきた。一方で、補助事業としての継続が年々困難となり、今後は補助金がなくても各都道府県にて事業の継続が可能となるよう方策を立てていく必要がある。このような観点から、これまでは全国を東西に分けて家族学習会開催の協力体制が図れるよう進めてきた。今後はもう少しエリアを明確にし、ブロック圏域ごとに連携して実施していくことが可能となるよう、企画委員会にて再確認し、推進していく。

#### ・電話等相談の実施

年間 288 件 3 名の相談員が毎週水曜日 10～12 時、13 時～15 時で受付した。

主な傾向

相談者の男女比は、18%：82%（相談対象者男女比は 39%：61%）

新規とリピート比は、57%：43%

相談者の立場は、昨年 1 位の親と 2 位のご本人が逆転し、障がいご本人 45%、親 38%、兄弟姉妹 8%、配偶者・パートナー 6%、子どもと親戚で 2% その他 1%

生活形態 同居 69% 単身 22% 施設その他が 9%

通院状況は、通院中 75% 入院中 10% 医療中断 4% 未受診 3% 不明 8%

#### ・WEB 会員向けコンテンツの拡充（オンライン交流会など）

想定をした人員配置が叶わず、コンテンツ確立に至らず、積み残し課題とした。

#### ④研修事業

##### ・2023 年度みんなねっとフォーラム

精神疾患・精神障がいのあるご本人の意思決定に基づいていくこと。家族はその意思決定を尊重しながら何が出来るか。知らず知らずに家族の意見を通していいことはないでしょうか。でも、頭ではわかって、現実には家族の意向も反映されなければ生活が成り立たないなどの声もある。フォーラムを通じ、家族とご本人の人としての権利を守り、発展させていくために、支援者や関係者の皆さまと共に、意思決定や当事者参画に関しても考える場となった。

多くの方から反響をいただき、当日は常時 270 名を越えての視聴参加と、アーカイブ配信は 5 日間限定でありながら 1,000 名余の方からアクセスがあった。

テーマ『精神障がいのあるご本人の意思決定と家族ができること』

～当事者参画が必要といわれるけれど～

日 程 : 2024 年 3 月 20 日(水) 午後 2 時～ 午後 4 時

実施方法 : Zoom ウェビナーによるオンライン開催

参加費 : 無料（事前申し込みなしで、どなたでも視聴できます）

話題提供者 山口創生氏（NCNP）

山田悠平氏（当事者）、夏莉郁子（精神科医・当事者・家族）、横山朋子（家族）

#### ・ブロック研修会、全国大会

北海道・東北ブロック 福島県連 リアル開催 2023年11月13日  
関東ブロック兼全国大会 埼玉県連 ハイブリット開催 2023年10月14～15日  
北信越ブロック 新潟県連 ハイブリット開催 2023年11月28日  
甲州・東海ブロック 三重県連 リアル開催 2023年10月26～27日  
近畿ブロック 滋賀県連 ハイブリット開催 2023年11月18日  
九州・沖縄ブロック 鹿児島県連 ハイブリット開催 2024年2月8～9日  
四国ブロック 愛媛県連 リアル開催 2024年2月12～13日  
中国ブロック 開催見送り

#### ⑤能登半島地震義援金

2024年1月23日、代表理事岡田久実子が理事の全員及び監事の全員に対して、理事会の議決の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2024年1月30日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないことの意味表示を得たので、一般法人法第96条（定款41条）に基づく理事会の決議の省略方法により、当該議案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

・趣旨 能登半島地震による被災地の人々及び精神障がい者支援等への支援活動をおこなうため、当会事務局内に「みんなねっと災害対策本部」を設置する。

・本部の構成 本部長 理事長 岡田久実子  
副本部長 副理事長 赤池千明・横山朋子・木全義治  
本部長 小幡恭弘（事務局長）・被災地正会員

・主な取り組み

被災地の家族会会員および精神障がい者等の被災状況の情報収集

## 被災地支援活動のための義援金募集および配布方法の検討

その他の被災地支援に必要な活動

義援金受付期間を第1次受付 2024年1月22日～3月31日まで、第2次受付 2024年4月1日～6月30日までとした

能登義援金第1次分 1,937,058円から経費 96,834円を差し引いた額 1,840,224円を石川県連へ。第2次分以降は富山県連・新潟県連への配分を含めて検討する。

## 2) 法人運営の安定した活動を維持するため、正会員の組織活性化

法人の持続運営のための全組織的な会員拡大のためにも、その基幹となる都道府県連合会へのみんなねっと事務局派遣を実施し、各県連の状況の把握に努めた。とりわけ県連再建を目指す山口県や県連解散の危機を乗り越えた徳島県へのサポートができたことは重要である。

別紙参考：「2023年度都道府県精神障害者家族会の活動に関する調査報告書（速報版）」

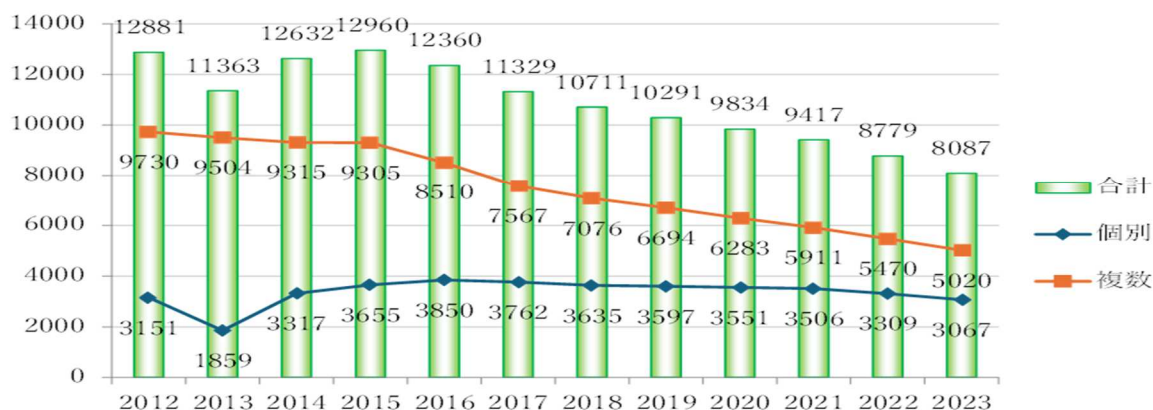
また、ブロック担当理事を通じた都道府県連合会の集約と交流のために、WEB会議の積極的活用をすることで、ブロック代表者会議の開催に代表理事ないし事務局長が出席し直接状況把握をすすめることができつつある。

## 3) 多様な家族・市民にとって、みんなねっとの存在意義を示すための体験的知識の蓄積体制を整える

### ① 広報啓発活動

- ・月刊みんなねっと誌(電子版含)の発行。また、創刊時より編集を担っていた萌文社の事情による契約解除となり、いりす出版社に変更した。
- ・編集委員会体制の強化のため、委員補充をおこなった

### 会員数の推移(経年比較)



## 2024年3月「年度末会員数」

	個別	複数	合計	会員比	都道府県人口 (人・R3・総務省)	人口比
1 北海道	60	96	156	1.9%	5,224,614	0.0030%
2 青森	20	78	98	1.2%	1,237,984	0.0079%
3 岩手	34	15	49	0.6%	1,210,534	0.0040%
4 宮城	49	2	51	0.6%	2,301,996	0.0022%
5 秋田	25	18	43	0.5%	959,502	0.0045%
6 山形	9	30	39	0.5%	1,068,027	0.0037%
7 福島	34	51	85	1.1%	1,833,152	0.0046%
8 茨城	72	90	162	2.0%	2,867,009	0.0057%
9 栃木	55	6	61	0.8%	1,933,146	0.0032%
10 群馬	47	159	206	2.5%	1,939,110	0.0106%
11 埼玉	195	288	483	6.0%	7,344,765	0.0066%
12 千葉	119	278	397	4.9%	6,284,480	0.0063%
13 東京	405	340	745	9.2%	14,047,594	0.0053%
14 神奈川	239	400	639	7.9%	9,237,337	0.0069%
15 新潟	52	153	205	2.5%	2,201,272	0.0093%
16 富山	28	50	78	1.0%	1,034,814	0.0075%
17 石川	28	35	63	0.8%	1,132,526	0.0056%
18 福井	21	103	124	1.5%	766,863	0.0162%
19 山梨	25	51	76	0.9%	809,974	0.0094%
20 長野	112	32	144	1.8%	2,048,011	0.0070%
21 岐阜	59	13	72	0.9%	1,978,742	0.0036%
22 静岡	67	293	360	4.5%	3,633,202	0.0099%
23 愛知	179	412	591	7.3%	7,542,415	0.0078%
24 三重	39	57	96	1.2%	1,770,254	0.0054%
25 滋賀	24	13	37	0.5%	1,413,610	0.0026%
26 京都	68	116	184	2.3%	2,578,087	0.0071%
27 大阪	170	79	249	3.1%	8,837,685	0.0028%
28 兵庫	161	126	287	3.5%	5,465,002	0.0053%
29 奈良	67	57	124	1.5%	1,324,473	0.0094%
30 和歌山	17	44	61	0.8%	922,584	0.0066%
31 鳥取	23	52	75	0.9%	553,407	0.0136%
32 島根	29	44	73	0.9%	671,126	0.0109%
33 岡山	37	120	157	1.9%	1,888,432	0.0083%
34 広島	56	68	124	1.5%	2,799,702	0.0044%
35 山口	32	39	71	0.9%	1,342,059	0.0053%
36 徳島	38	54	92	1.1%	719,559	0.0128%
37 香川	20	28	48	0.6%	950,244	0.0051%
38 愛媛	46	66	112	1.4%	1,334,841	0.0084%
39 高知	14	39	53	0.7%	691,527	0.0077%
40 福岡	104	192	296	3.7%	5,135,214	0.0058%
41 佐賀	8	147	155	1.9%	811,442	0.0191%
42 長崎	24	73	97	1.2%	1,312,317	0.0074%
43 熊本	38	442	480	5.9%	1,738,301	0.0276%
44 大分	22	67	89	1.1%	1,123,852	0.0079%
45 宮崎	18	15	33	0.4%	1,069,576	0.0031%
46 鹿児島	55	70	125	1.5%	1,588,256	0.0079%
47 沖縄	23	19	42	0.5%	1,467,480	0.0029%
合計	3067	5020	8087	100.0%	126,146,099	0.0064%

- ・メルマガ・SNS、ホームページ、みんなねっとサロンの連動した展開

LINE742名 X(旧Twitter) 2127名

メルマガは3235名を対象に年間で17回(vol.149~165)発行され、約2500名に届いている。

みんなねっとサロンは、登録者数の更新を続けており、11,023名となっている

投稿は1928件 コメントは9482件

- ・みんなねっとブックレット新刊企画・監修・発行

中断していたきょうだい編の発刊準備をすすめ、次年度6月に発刊予定となった。

- ・マスコミなど広報媒体への発信

滝山病院事件、愛知県岡崎警察署勾留事件を中心に、新聞各社等の取材を受ける。

#### ②情報アーカイブの活用運用の検討

各都道府県連合会会報などの保存・保管とデータの蓄積状況を把握するため、前述の2023都道府県連合会アーカイブ資料実態調査を実施。また、地域精神保健機構(COMHBO)にある全家関連資料の下見とアーカイブ資料として当会にて引き継ぐことの合意ができた。

#### ③他団体等との連携

- ・日本精神科病院協会政策委員会との意見交換会を実現した。(12月15日)
- ・日本障害者フォーラム(JDF)を通じての障害者権利条約日本勧告に係る国際的な視点からの協働をおこなった。
- ・能登半島地震の現地視察をJDFの同行の形で実施した。
- ・日本うつ病学会からの要請にこたえ登壇やパネル展示に参加した。

#### ④倫理審査会等の部門体制の検討

当事者・家族参加型の倫理審査委員検討プロジェクトチームを設置し、8月27日を皮切りに3回会議・研修を開催。国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(NCNP)の倫理審査委員として、夏莉郁子理事、塚本弥生氏の2名を推薦した。

### 3 組織と事業内容

#### 3-1) 機関組織

- 1 総 会 定例年1回 6月16日(金)
- 2 理 事 会 定例年3回 5月25日, 10月25日, 3月13日
- 3 理 事 懇 談 会 8月28日(月)
- 4 代表理事会(打合せ) 4/11,25 5/15 6/5,14,28 7/11,20 8/7,28 9/11,21  
10/10,24 11/6,21 12/8,22 1/16,31 2/15,18,26 3/11,26
- 5 法 人 内 監 査 5月19日(金)

#### 3-2) 各委員会等

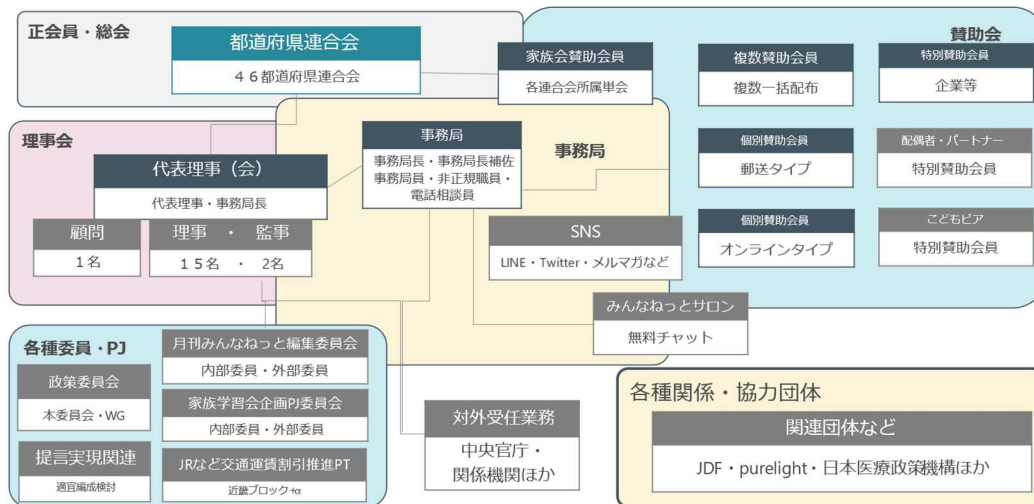
委員会名等	構成員
JR など交通運賃割引 推進プロジェクトチーム	座長：新銀輝子、プロジェクト事務局長：奥田和男 近畿ブロック役員、参加希望都道府県連 事務局：小幡
政策委員会	委員長:木全義治 書記長：野村忠良、福田正人、藤井千代、 長谷川利夫、横山恵子、堀合悠一郎、眞壁博美、岡田久実子、赤 池千明、横山朋子、 事務局:小幡恭弘・高村裕子
月刊みんなねっと 編集委員会	委員長：赤池千明 飯塚壽美、菅原かほる、橋口亜希子、桶谷肇、 吉邑玲子、本山久美子 協力員：野村忠良、編集業者：松坂尚美（いりす）、 事務局：高村裕子、佐瀬望
家族学習会企画	委員長：飯塚壽美

プロジェクト委員会	伊藤さえ子・岡田久実子・桶谷肇・酒井佳永・ 佐藤美樹子・島袋照美・杉本富太郎・隅谷和生・ 徳久照道・中越由美子・永野昭二・貫井信夫・ 野田敏夫・原晴美・半澤真澄・前田直・守谷栄二・ 横山恵子・吉澤智子 協力委員：天川智子・井汲悦子・伊藤順一郎・大島巖・ 蔭山正子・柏木彰・倉澤政江・小林清香・鈴木裕子・高森信子・ 中村由嘉子・二宮史織 事務局：高村裕子、松本まゆみ
当事者・家族参加型の倫理審査委員検討プロジェクトチーム	座長：夏莉郁子、 岡田久実子、塚本弥生、高村裕子、小幡恭弘 オブザーバー：木全義治、赤池千明、横山朋子

・「みんなねっとフォーラム」および「調査事業」は事務局にて対応した

・提言実現に関わる分野別部門の検討

各委員会等の見直し検討をすすめ、2024年度より、みんなねっと提言実現委員会を設置する中に各種プロジェクトチームを随時設けていくこととした。



### 3-3) 行政当局・公共団体等の役割受任

当会の目的を達成するためにも、行政当局等への参加と、関係機関・団体への協力を推進した（下記は現時点主な受任を示す \*印は岡田理事長 記載なしは小幡事務局長）

- ① 内閣府障害者政策委員会 \*
  - ② 厚生労働省 社会保障審議会障害者部会 \*
  - ③ 厚生労働省 労働政策審議会障害者雇用分科会（新銀理事）
  - ④ 厚生労働省 精神科医療における行動制限の最小化に関する調査研究検討会 \*
  - ⑤ 厚生労働省
- 第1回市町村における精神保健に係る相談支援体制整備の推進に関する検討チーム \*
- ⑥ 厚生労働省 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業 \*
  - ⑦ 厚生労働省 障害者総合福祉推進事業補助金 当事者活動実態調査(みずほリサーチ) \*

⑧ 国土交通省

高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準に関するフォローアップ会議

⑨ 国土交通省 道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会

⑩ 国土交通省 当事者目線にたった評価指標プレ調査

⑪ 国土交通省 車椅子利用者用駐車施設等の適正利用に関する

指針（ガイドライン）作成に係る意見交換会

⑫ 国土交通省 道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会

⑬ 消費者庁 高齢障害者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会

⑭ 全社協地域福祉部地域福祉権利擁護に関する検討委員会（赤池副理事長）

⑮ 中央障害者社会参加推進協議会(赤池副理事長)

⑯ 独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター

障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究委員会

⑰ 独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構全国障害者技能競技大会競技委員会

⑱ 独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構評議員（赤池副理事長）

⑲ 日本障害者フォーラム（JDF）：代表者会＊

⑳ 日本障害者フォーラム（JDF）：幹事会・条約推進委員会

㉑ 自由民主党ユニバーサル社会推進議員連盟＊

㉒ 自由民主党政務調査会障害児者問題調査会＊

㉓ 公明党障がい者福祉委員会＊

㉔ 国際障害者交流センター運営協議会（倉町前理事：次期新銀理事予定）

㉕ 立命館大学 医療・ヘルスケア領域における ELSI の歴史的 analysis とアーカイブズ構築

他 ハルティスファーマー、ルントベックジャパン、住友ファーマ、武田製薬ほかヒヤリング・意見交換等

## 受任会議の一例

### 障害者政策委員会

回数	年月日	主要議題
第 78 回	令和 6 年 3 月 7 日（木）	改正障害者差別解消法の施行について
第 77 回	令和 5 年 11 月 13 日（月）	障害者基本計画（第 4 次）の実施状況について
第 76 回	令和 5 年 10 月 4 日（水）	委員挨拶、委員長選出等 障害者基本計画（第 4 次）の実施状況について

厚生労働省 社会保障審議会（障害者部会）

回数	開催日	議題等
第 140 回	2024 年 3 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定等について（報告）</li> <li>・障害福祉サービスデータベースにおける第三者提供について</li> <li>・その他</li> </ul>
第 139 回	2023 年 12 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足給付、医療型個別減免の経過措置について</li> <li>・障害保健福祉施策の動向について</li> </ul>
第 138 回	2023 年 11 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援医療の経過的特例について</li> <li>・障害福祉サービス等報酬改定の施行日について</li> <li>・障害福祉サービス等報酬改定検討チームの議論の状況について</li> <li>・精神科病院における障害者虐待に対する都道府県の対応について</li> </ul>

第 137 回	2023 年 9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害保健福祉施策の動向について</li> <li>・ その他</li> </ul>
第 136 回	2023 年 6 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者総合支援法等を改正する法律の施行に伴う検討事項について</li> <li>・ その他</li> </ul>

厚生労働省 労働政策審議会（障害者雇用分科会）

回数	開催日	議題等
第 131 回	2024 年 2 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者の雇用の促進等に関する法律施行規則の一部を改正する省令案要綱等について（諮問）</li> <li>・ その他</li> </ul>
第 130 回	2023 年 12 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023 年度の年度目標に係る中間評価について</li> <li>・ その他</li> </ul>
第 129 回	2023 年 6 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法改正に伴う令和 6 年度施行分の政令・省令・告示案要綱について（諮問）</li> <li>・ 2022 年度の年度目標に係る評価及び 2023 年度の年度目標の設定について</li> <li>・ その他</li> </ul>
第 128 回	2023 年 4 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設助成金の設定及び既存助成金の拡充について</li> <li>・ その他</li> </ul>